



2025年8月18日
大阪女学院大学
大阪女学院短期大学
大阪府中央区玉造 2-26-54

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学は、これからも、
“女子大学として『やかましい女性』を世界に”

若年人口の減少による大学運営の厳しさを背景に、全国的女子大学では共学化が進んでいます。そうした中、大阪女学院大学・大阪女学院短期大学は、新たな改革ビジョンの策定を進めています。

改革のスローガンは、“女子大学として『やかましい女性』を世界に”です。

ここでいう「やかましい女性」とは、問題意識をもち、自らの考えを明確に表現し、社会や世界に貢献しようと主体的に関わる女性のことです。

大阪女学院は、女子教育において141年の歴史を有し、明治時代から現在に至るまで、キリスト教精神に基づき、他者との関わりを大切にしながらも、多様な価値観の中で自分の立ち位置を見つけ、自分の言葉で考えを発信できる女性の育成に力を注いできました。

この「大阪女学院スピリット」は、大学・短期大学にも確かに息づいており、卒業生たちは社会のあらゆる場面で、自らの考えを発信しながら、しなやかに、力強く歩んでいます。

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学は、「THE 日本大学ランキング 2025」の「国際性」部門で全国4位にランクインしています。別紙に掲げる大学改革を通じて、大阪の中心地に位置する大学として、世界とつながる学修環境をさらに発展させます。そして、女性のための高等教育機関として、これからも一步一步、確実に前進してまいります。

2025年8月18日

大阪女学院大学
大阪女学院短期大学
学長 加藤 映子

大学改革プラン「VISION III（仮称）」の策定にむけて

【プランの位置づけ】

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学は、世界都市・大阪の中心に位置する緑豊かなキャンパスで、学院創立 141 年（1884 年～）、短期大学開学 57 年（1968 年～）、大学開学 21 年（2004 年～）という伝統を受け継いできました。その中で培われたキリスト教教育と国際教養教育の価値を活かし、少子化や分断の時代とも呼ばれる社会の変化に応えるため、本学では「第 3 の開学」と位置づける大学改革プラン「VISION III（仮称）」の策定に向け、今年 8 月より取り組みを開始しています。

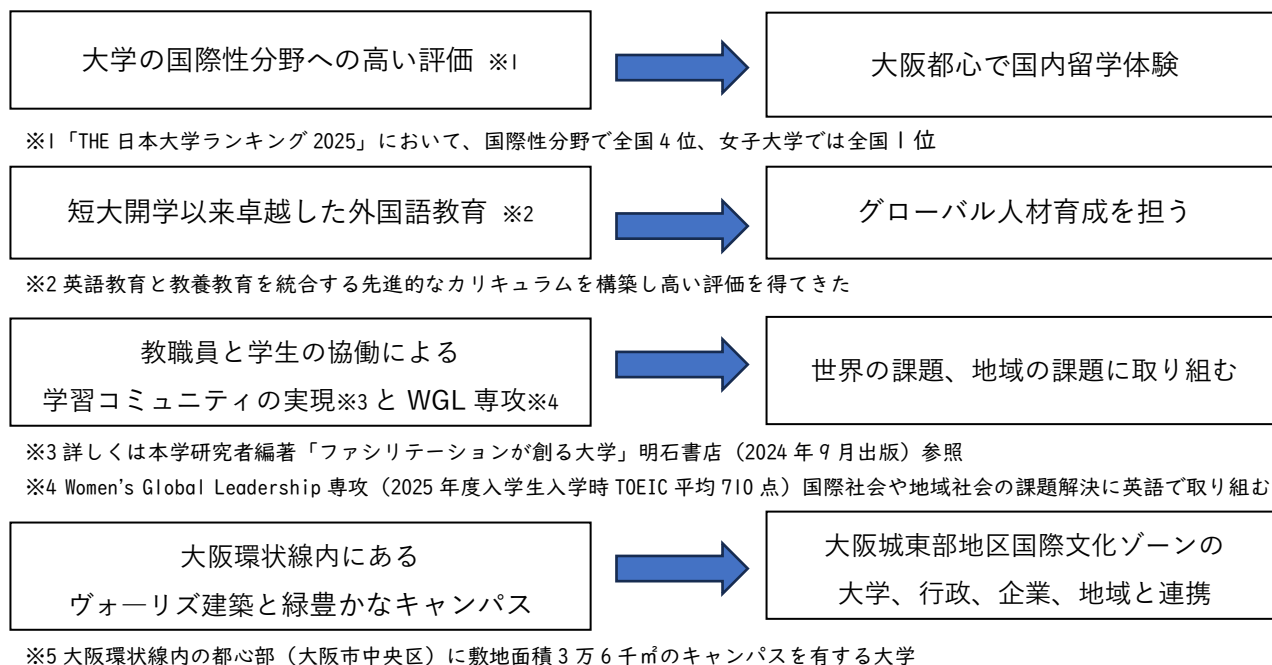
年内に、“**やかましい**”女性が大阪から社会にインパクトを与え、未来を拓く大学改革プラン「VISION III（仮称）」を公表すべく広く関係の皆様の声をお聞きしながら改革に努めてまいります。

【タイムスケジュール】

策定時期 2025 年 12 月

目標時期 2026 年 4 月から着手し、2027 年 4 月を目標とする

【受継ぐ価値とチャレンジの方向】



【本リリースに関する報道関係のお問い合わせ先】

学校法人 大阪女学院 法人事務局

担当 八木 TEL：06-6761-4013

e-mail：houjin@wilmina.ac.jp